

教育委員会定例会議事録

令和4年10月18日 午後2時00分 開会

出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	渡 辺 時 行
委 員	菅 沼 由 貴 子
委 員	戸 苺 恵 理 子
委 員	山 田 清 志

説明のための出席者

教育部長	前 田 清 彦
教育部次長兼庶務課長	酒 井 保 吏
教育部次長兼学校教育課長	山 本 一 之
教育部次長兼中央図書館長	尾 崎 浩 司
庶務課主幹	中 村 忠
学校教育課主幹	中 村 立 志
生涯学習課長	林 弘 之
スポーツ課長	杉 浦 忠 彦
学校給食課長	林 俊 光
中央図書館主幹	中 西 明

教育長が指定した事務局職員

主 事	近 藤 邦 宏
主 事	森 下 徹

議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 第27号議案 教職員の任用について（非公開）
- 第3 第28号議案 令和3年度教育委員会事務の点検・評価報告書について
- 第4 教育長報告 令和5年度教職員定期人事異動方針について（専決処分）（非公開）

「高本教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、直ちに会議を開きます。始めに、日程第1、議事録署名委員の指名を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、渡辺・戸苺 両委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

「高本教育長」 続きまして、日程第2、第27号議案「教職員の任用について」を議題といたしますが、本案は職員の人事に関する案件となりますので、議事を非公開とし、会議内容の議事を別に記録することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認め、本件は非公開で行います。それでは、事務局からの説明をお願いします。

(以下、議事内容は人事情報に関わるため議事を非公開)

「高本教育長」 続きまして、日程第3、第28号議案「令和3年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「酒井教育部次長」 第28号議案「令和3年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」を資料に基づき説明。

「高本教育長」 7月定例会で報告があり、その後2度の点検評価委員会で外部評価をいただいたものがまとまったとのこと。この件について、ご質疑がありましたらお願いします。

「山田委員」 昨年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特にスポーツをはじめとしたイベント開催への影響が大きかったとのこと。評価委員からも、新しい生活様式に沿った取組を期待する声がありますが、今年度の状況はどうですか。

「杉浦スポーツ課長」 今年度は、6月にリレーマラソン、9月に市民体育大会を開催し、11月にはシティマラソンを開催予定です。コロナが収束しない状況ですが、感染症対策を行いながら、安全・安心な大会運営を目指しているところです。他自治体の中には、オンラインでマラソン大会を開催しているところもありますが、その場合、現地に訪れることなく、自分の好きな時間、好きな場所で機械的に計測することとなりますので、豊川シティマラソンの在り方として相応しいのかという話もありました。一方、コロナ禍の閉塞した中で、自主的に運動しようとする市民の方が増えていると思います。夜に散歩されている方が多くなった印象もありますし、実際に市民意識調査においても、日ごろから体を動かしている市民の割合が増加しています。市民自らが、自主的にスポーツに取り組んでいる状況ですので、この良い流れの中で、引き続き感染症対策に留意しながら、市主催イベントも開催していきたいと思ます。

「戸荻委員」 ニュースを見ていると「3年ぶりに開催」などと、全国的に様々なイベントが再開されているように感じます。一方で、それに関連した事故も多いように

感じます。3年ぶりに開催するという事は、主催者側も3年間のブランクがあったということですし、これは参加者も同様です。主催者側、参加者側の双方が、けが等に気をつけながら、安全にイベントを行っていただきたいと思います。

「杉浦スポーツ課長」 昨年度、市民体育大会を中止した際の判断基準がまさにそのことでした。コロナの感染状況だけを見ると、そのタイミングでは落ち着いていたので開催可能でしたが、一方で、学校の部活動などは、それまで自粛していたので、子どもたちがほとんど運動をしていない状況でした。そのような中で大会を開催し、突然運動をさせることが危険であるという判断があり、大会中止という苦渋の決断をしたものです。11月のシティマラソンについても、コロナ前は中高生のボランティアが非常に多かったのですが、コロナを受けて、学校側が参加させることに不安を感じています。感染症対策、そして準備運動をしっかり行いながら取り組んでいきたいと考えています。

「山田委員」 学校給食課に伺います。給食の地産地消率が令和元年度10.3%、令和2年度11.6%、令和3年度が12.2%と順調に上がってきています。これは食材数における豊川産の割合ということですか。

「林学校給食課長」 山田委員が言われたとおり、食材数における豊川産の割合です。なお、国では、食材数ベースではなく、調達金額ベースにしたらどうかという議論もあるようです。

「菅沼委員」 金額ベースにした場合、この数字がどのように変動するか気になります。豊川産の食材をたくさん使用したとしても、それが安く調達できるものであれば、地産地消率は下がってしまうのかもしれませんが。

「戸荻委員」 先日、学校給食でスイカが出ました。子どもたちが「今年初めて食べました」という時期に出たものですから、給食会議で、そういったものは高くなりませんかと質問したところ、品質も良く大量の数を確保できるのがその時期だとのことでした。通常、旬のものがたくさん出回るの時期に安くなるのかもしれませんが、こういったこともありますので、金額ベースにすると案外地産地消率としては上がるのかもしれませんが。国が金額ベースを検討している理由は何故かわかりますか。

「林学校給食課長」 地域によって地産地消率に開きがあることが要因のようです。例えば、東三河は地元でたくさんの食材を調達できるので、地産地消率は高めの水準となっています。一方で、そうではない地域もたくさんありますので、現状の地産地消率をベースに、金額ベースで維持しましょうという考えがあるようです。

「戸荻委員」 地産地消率が下がらないようにするという事ですね。それも大切な考え方だと思います。

「高本教育長」 購入額は年度によって大きく変動しますか。

「林学校給食課長」 賄材料費が決まっているので、大きな変動はありません。

「渡辺委員」 学校教育課に伺います。2学期からタブレットの持ち帰りを順次開始していると思いますが、現在どの程度の学校が始めていますか。また、これに関連した話題などありましたら教えてください。

「山本教育部次長」 諸事情により遅れている学校があるものの、現在ではほとんどの学校が持ち帰りを開始しています。成果としては、タブレットを使うことが日常化、習慣化していることだと思います。導入当初は、タブレットを使う、次に紙を用いて授業を行う、またタブレットを使う、こういったことが途切れ途切れになり、授業も中断していましたが、だいぶ解消されてきたようです。タブレットを活用した授業の進行もスムーズになり、中身も改善されてきたと思います。

「渡辺委員」 故障や破損の件数はどうですか。

「酒井教育部次長」 1学期中に故障や破損した件数ですが、自然故障として無償修理対象となったものが10件程度、主に液晶画面の破損として有償対応したものが20件程度です。1学期の状況なので、持ち帰りが本格スタートする前の数字ですが、今後、持ち帰りが開始されると、それ以上に増えると思いますが、実際にどの程度になるかわからない状況です。

「高本教育長」 タブレットの状況については、今後も折を見ながら報告していただきたいと思います。ほかにご質問、ご意見がなければ採決を行います。本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認めます。日程第3、第28号議案「令和3年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」は原案のとおり可決いたしました。

「高本教育長」 続きまして、日程第4、教育長報告「令和5年度教職員定期人事異動方針について（専決処分）」を議題といたしますが、この報告は職員の人事に関する案件となりますので、議事を非公開とし、会議内容の議事を別に記録することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

「高本教育長」 異議なしと認め、本件は非公開で行います。それでは、事務局からの説明をお願いします。

(以下、議事内容は人事情報に関わるため議事を非公開)

「高本教育長」 本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会は閉会といたします。

(午後 3 時 1 7 分 閉会)

この議事録は真正であることを認め、ここに署名する。

教 育 委 員

教 育 委 員